

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

COVID-19 流行下での山梨県の肝疾患コーディネーター養成および活動

研究分担者 井上泰輔 山梨大学第一内科 講師・肝疾患センター長
研究協力者 中山康弘 山梨大学附属病院肝疾患センター 副センター長
研究協力者 有菌晶子 山梨大学附属病院肝疾患センター 看護師
研究協力者 浅山光一 甲府市役所福祉保健部生活衛生業務課 課長

研究要旨

【背景】2020年初頭から世界的にCOVID-19感染が流行し、さまざまな社会活動が制限を受けて現在まで継続している。肝疾患コーディネーターに関連する活動も例外ではなく、多人数が集まる形での講習会や、患者・家族が参加しての相談会等の開催は軒並み延期、中止を余儀なくされている。しかしインターネットを介したWEB開催等での活動は可能なため、例年とは異なる形で行われた2020年度の肝疾患コーディネーター関連活動につき検討した。

【結果】肝疾患コーディネーター講習会は例年通りの8講義をすべてWEB上で行い、修了試験のみ十分な感染対策を講じたうえで現地開催した。受講者は89名、新規認定者は65名と、ここ数年では最多数であった。コーディネーター講習会もWEBで配信し、視聴者数は77名であった。演者6名のうち4名が肝疾患コーディネーターであった。例年拠点病院の病棟で行っていた肝臓病教室もWEB配信で2021年3月に行い、演者2名のうち1名はコーディネーター認定を持つ栄養士であった。これまで拠点病院内と、院外数か所で開催していた相談会はすべて中止となった。近年中核市となった甲府市では市内のコーディネーターに呼びかけて甲府市肝疾患コーディネーター交流会を組織し、メーリングリストへの登録者へ肝疾患関連の情報を頻回に配信している。

【考察】COVID-19流行下で制限された状況でも実行可能なコーディネーター関連活動が確認された。現地での講演参加に替えてWEB開催として配信期間を調整すれば、既存の開催では時間や移動の制約で参加できなかった方も参加可能となり、実際に新規コーディネーター認定数は近年で最多であった。今年新たに開始した甲府市肝疾患コーディネーター交流会でのメール配信は感染流行下でも継続可能な活動であり、有意義な手法と考える。直接顔の見える関係を患者・家族と、またスタッフ同士で築くことは重要だが、今年度に期せずして行ったいくつかの活動は今後COVID-19が終息した後にも利点を生かして取り入れていくべき点があると思われる。

A. 研究目的

本県では2009年に全国に先駆けて肝疾患コーディネーターの養成を開始し、その後2011年からはコーディネータースキル

アップ講座を年1回開催してきた。また認定されたコーディネーターは相談会や肝臓病教室等で相談員や講師として活動してきた。こうした肝疾患コーディネーター活動

が2020年度はCOVID-19感染の蔓延のため全国的に大きな制限を受けている。こうした状況でもインターネットを介した活動は可能であるため、2020年度に本県で行ったコーディネーター関連の活動について検討した。

B. 研究方法

肝疾患コーディネーター養成講習会は例年8講義を4日間で受講し、認定試験を受験していた。今年度は同様の8講義をWEB配信期間(9月28日から10月23日)に受講して、10月29日に山梨大学医学部臨床講堂で、学部生の試験時に準じた十分な感染対策をとったうえで行った。

令和2年度肝疾患コーディネーター養成講習会 (WEB)

肝疾患コーディネーターとは？

さまざまな分野で活躍中の方が、肝疾患の専門的知識を持ち、
+
肝炎ウイルス感染者
肝疾患患者 の相談・支援を行い、適正な医療へ導く
患者ご家族の方々

どうやったらなるの？

一定の講義を受講し、認定試験に合格した者に県から認定証を交付します。

- ◇申込期間：令和2年9月1日(火)～9月18日(金)
- ◇申込方法：電話、Eメール(※電話受付は平日のみ)
又は別紙の申込書にて郵送・FAXでお申し込みください。
- ◇募集定員：定員制限なし
- ◇参加費：無料
- ◇対象：医師・看護師・保健師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師
および肝疾患センターが認めたる者
- ◇視聴案内：申込者にメールで送信
- ◇講義配信期間：令和2年9月28日(月)～10月23日(金)
- ◇試験日：令和2年10月29日(木) 会場：山梨大学医学部臨床講堂

郵送先：山梨県福祉保健部健康増進課 感染症担当
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1
Eメール：kenko-zsn@pref.yamanashi.lg.jp
Fax：055-223-1499
問合せ先：山梨大学医学部第一内科 ☎055-273-9584



厚生労働省の肝疾患総合対策のマスコットキャラクターです。

令和2年度肝疾患コーディネーター養成講習会 (web)

受講申し込み受付期間 令和2年9月1日～18日

公開期間 令和2年9月28日～10月23日

講義	講義時間・講義名	講師	時間
講義①	B型肝炎	山梨大学医学部第一内科 井上泰輔	19分
講義②	C型肝炎	山梨大学医学部第一内科 前川伸哉	19分
講義③	肝硬変、アルコール性肝炎、NASH、自己免疫性肝炎	山梨大学医学部第一内科 藤田久	19分
講義④	肝臓の内科的治療	山梨大学医学部第一内科 中山康弘	19分
講義⑤	肝疾患に関する公的医療制度、自立支援	山梨県福祉保健部健康増進課 金高昌代	19分
講義⑥	肝臓の外科的治療	山梨大学医学部第一外科 南宮秀武	19分
講義⑦-1	肝疾患患者のケア 理論	山梨大学看護学科基礎・臨床看護学 坂本文子	30分
講義⑦-2	肝疾患患者のケア 実践	山梨大学附属病院看護部 山本理実	30分
講義⑧	肝疾患の現状と肝炎対策、肝疾患コーディネーターについて	山梨県福祉保健部健康増進課 久米好	19分
試験	令和2年10月29日(木) 18:10～ 臨床小講堂		
認定証交付	発送		

事務局：山梨大学附属病院肝疾患センター (第一内科医局内) TEL：055-273-9584 FAX：055-273-6748

認定コーディネーター対象のスキルアップ講座は例年会場に集合して講演やパネルディスカッション、グループワークや関連施設の見学等を行ってきた。今回はWEB配信(11月21日から11月29日)で6人の講師(医師2名、認定コーディネーター4名：MSW、栄養士、保健師、行政職員各1名)による本県でコーディネーター養成を開始した約10年前と現在の肝疾患を取り巻く変化についての講演とした。

2020肝疾患医療コーディネーター研修会 肝疾患コーディネータースキルアップ講座

Web配信期間：2020年11月21日(土)～29日(日)
対象：山梨県認定肝疾患コーディネーター
参加費：無料

1. 肝疾患医療コーディネーターに関するDVD上映
ご挨拶と基調講演
2. 特別企画「肝疾患コーディネーターこの10年」
 - ①肝疾患診療この10年 山梨大学 井上泰輔
 - ②肝臓診療この10年 山梨大学 中山康弘
 - ③MSWからみた10年 山梨大学 鎌形辰也
 - ④栄養士からみた10年 山梨大学 安達友紀
 - ⑤保健師からみた10年 北杜市役所 興水秀子
 - ⑥自治体からみた10年 甲府市役所 浅山光一

主催 日本肝臓学会 後援 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター、山梨県
問い合わせ先 山梨大学医学部附属病院 第1内科 電話 055-273-9584 (直通)

※この会は、一般社団法人日本肝臓学会が「2017年度GSK医学教育事業助成」を受けて開催しています。

肝臓病教室は病棟会議室で患者と患者家族を対象に行ってきた。こちらもWEB配信(3月1日から3月28日)で医師1名、コーディネーター認定栄養士1名が講演した。

肝そう病教室 WEB配信のご案内

山梨大学医学部附属病院肝疾患センターでは、肝そう病の患者様やご家族を対象に肝そう病教室を開催しています。今年度は感染防止のためWEB配信となりました。配信期間中は何處でもご覧いただけます。この機会に多くの方にご視聴いただきたく案内します。

視聴期間：令和3年3月1日～28日

『おさけと肝臓』

山梨大学医学部附属病院 第1内科
中軸 奈津子先生

『アルコールと栄養』

山梨大学医学部附属病院 栄養管理室 栄養士
安達 友紀先生

パソコンやスマホからこちらのサイトに入り視聴してください。

<http://kan-kanzokuyoushitsu.jp>

期間中であれば何度でもご覧いただけます。



視聴後質問等お聞きになりたいことありましたら、下記の「肝疾患のサイト」に入り、「ご相談方法」の「メールでの問い合わせ」へご入力ください。

<https://www.med.yamanashi.ac.jp/medicine/liver/contact/>



主催 山梨大学医学部附属病院肝疾患センター
連絡先 山梨県中央市下河原1110 電話 055-273-1111

2020年1月から甲府市に職場を持つ肝疾患コーディネーターの交流会を発足させ、メーリングリストを作成して不定期に肝疾患関連の情報を配信している。

甲府市内の肝疾患Co交流会について

- ・市内の肝疾患コーディネーターの交流会発足



- ・Opening 交流会の趣旨について
- ・Report 肝疾患コーディネーターの活動について
厚生労働科学研究 肝炎等克服政策研究 江口 暁より
- ・Special lecture
脂肪肝の最新情報と脂肪肝外来の開設について
山梨大学医学部附属病院 鈴木 雄一朗 先生
- ・Free chat 先生方を困らせて井戸端会議

2020. 1. 31 18時～19時30分 甲府市健康支援センター大会議室
参加者18名+山梨大学医学部附属病院肝疾患センター3名

C. 研究結果

コーディネーター講習会をWEBで行った2020年度は89名が応募し65名が新規に認定された。これは2018年度の応募35名認定33名、2019年度応募31名認定30名と比較し増加していた。今年度までの合計認定コーディネーター数は479名となった。

スキルアップ講座の視聴者数は77名で、2019年の参加者40名、2018年の37名と比較しこちらも増加していた。

肝臓病教室は本報告書作成時にWEB配信中であり配信終了後に集計を行う。

例年拠点病院内と院外数か所で開催し、多職種の肝疾患コーディネーターが相談員として対応してきた相談会については今年度は1回も開催できなかった。

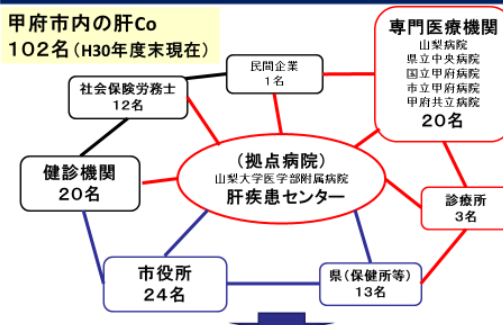
甲府市肝疾患コーディネーター交流会はCOVID-19流行前の2020年1月に講習会・交流会を開催して発足。現在102名の甲府市のコーディネーター中33名がメーリングリストに登録している。2021年3月5日までに合計17回のメール配信を行っている。

主な配信内容

- ・肝疾患レシピ
- ・山梨県の患者会情報
- ・NAFLD/NASHについて

- ・COVID-19下でのB型肝炎医療費助成
- ・COVID-19発生状況と重症化リスク
- ・基礎疾患を持った方のCOVID-19ワクチン
- ・肝臓なんでも相談会開催案内・協力依頼
- ・肝がん撲滅市民公開講座開催案内
- ・肝疾患Coスキルアップ講座開催案内
- ・医療従事者研修会の開催案内
- ・肝臓病教室の開催案内

交流会の目的



各機関の関係者と肝Coの連携+顔の見える関係構築

E. 結論

2020年度のCOVID-19蔓延下で肝疾患コーディネーター関連活動も大きな制限を受け、多人数が集まる講演会や相談会は開催できなかった。しかしインターネットを用いたWEB配信により養成講習会、スキルアップ講座、肝臓病教室は開催可能であり、移動や時間の制約がないため例年よりも参加者が増加した。甲府市Co交流会メールはCOVID-19流行前から企画されたものであったが、集合開催が困難な状況でのCo交流に有用であると考えられる。今後COVID-19が収束した後も今年度の経験を生かしてWEBやメールを利用した活動を取り入れていきたい。

F. 研究発表

1. 論文発表

榎本大、日高勲、井上泰輔、磯田広史、井出達也、荒生祥尚、内田義人、井上貴子、池上正、柿崎暁、瀬戸山博子、島上哲朗、小川浩司、末次淳、井上淳、遠藤美月、永田賢治、是永匡紹。肝疾患診療連携拠点病院におけ

る肝炎医療コーディネーターの現状. 肝臓
62 巻 2 号 96-98 (2021)

2. 学会発表

山本知恵、渡邊拓也、渡辺亜矢子、遠藤雄
子、三科進吾、河西文子、浅山光一、古屋
好美、中山康弘、井上泰輔、榎本信幸. 甲
府市における肝がん・肝炎対策について
～一般市から中核市の取り組み～ 肝臓
61巻Suppl.1 Page A259 (2020)

G. 知的所有権の取得状況

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

